



主な事業について

■「伊達はつらつ元気 塾事業」
417万円

■「大滝区定住促進住宅整備事業」
2億7279万円

事業者の増(昨年度比較で約2倍)と新規利用者の増(発達障害等)及び認知度の高さから、専門的な教育や指導にかかることが増えたため増額する。

や生活支援等を実施する伊達市農業協同組合に対し、事業費の一部を補助するとともに、研修生に賃貸住宅費用の一部を補助する。

■「やまびこ児童クラブ増築事業」
2015万円

■「子どものための教育・保育給付費負担金」
3億1696万円

■「伊達市看護師等修学資金貸付金」
352万円

■「伊達野菜ブランド化推進事業補助金」
736万円

黄金地区・有珠地区コミュニティセンターで65歳以上の地域住民を対象とした健康カラオケを実施し、食事を提供することで健康づくり・認知症予防に取り組む。実施主体は市であるが、平成28年度は社会福祉協議会への委託を検討中。

民間賃貸住宅のない大滝区内で働く若年者向けの住居を提供し、大滝区への移住・定住を促す。平成29年度の供用開始予定。契約は大滝区内事業者となっており、平成28年度中に24戸供用開始。全体計画は48戸。

看護師等の養成施設に在学し、将来市内の医療機関等で、看護師等の業務に従事する意思のある者へ修学資金を貸し付ける。また、貸付期間と同等の間、市内で看護師等の業務に従事したときは、修学資金の返還を免除する。

高糖度トマト(糖度8以上)の品質の統一を図るため、生産にかかわる農家でマニュアルを作成しそれに則って行う事業費の補助を行う。

■「障害児通所給付費」
4878万円

■「新規就農者受入推進事業」
460万円

■「地域循環型ポイントカード運営事業補助金」
460万円

平成27年度からの制度改正により、児童クラブの対象児童が小学6年生まで拡大されたため、既存のやまびこ児童クラブの建物を増築し、最終的な利用児童数を110名程度とする。

国の制度の変更により、市が負担することになった費用。財源として国及び北海道からの負担金を活用する。

就農に意欲のある者の誘致活動を実施するため、合同説明会、新・農業人フェア(札幌と東京)への出展する。

商工観光課が事務局となり実施する。地域全体の活性化を推進するため、市の施設(現在は保健センター、観光物産館、総合体育館、温水プール・トレーニング室)で共通で使用するポイントカード事業を実施する。

予算決算常任委員会は3月10日から3月14日までの3日間、平成28年度伊達市予算(一般会計・特別会計・水道事業会計の8案件)が審議され、付託された8案件は、全員一致で「原案のとおり可決すべきもの」として決定いたしました。

平成28年度の一般会計予算は前年度当初予算と比較して約13億8400万円増額の約189億4900万円となりました。また、特別会計6会計の合計は前年度当初予算と比較して、約1300万円減額の約113億3600万円となりました。水道事業会計は前年度当初予算と比較して、約7300万円減額の約9億8300万円となりました。

これにより、平成28年度当初には待機児童を出さ

また、新規就農を目指す研修生の生産技術の指導

研修生の生産技術の指導

解説

平成28年度予算のポイント

～合併後最大となった

一般会計予算 189 億円!!～



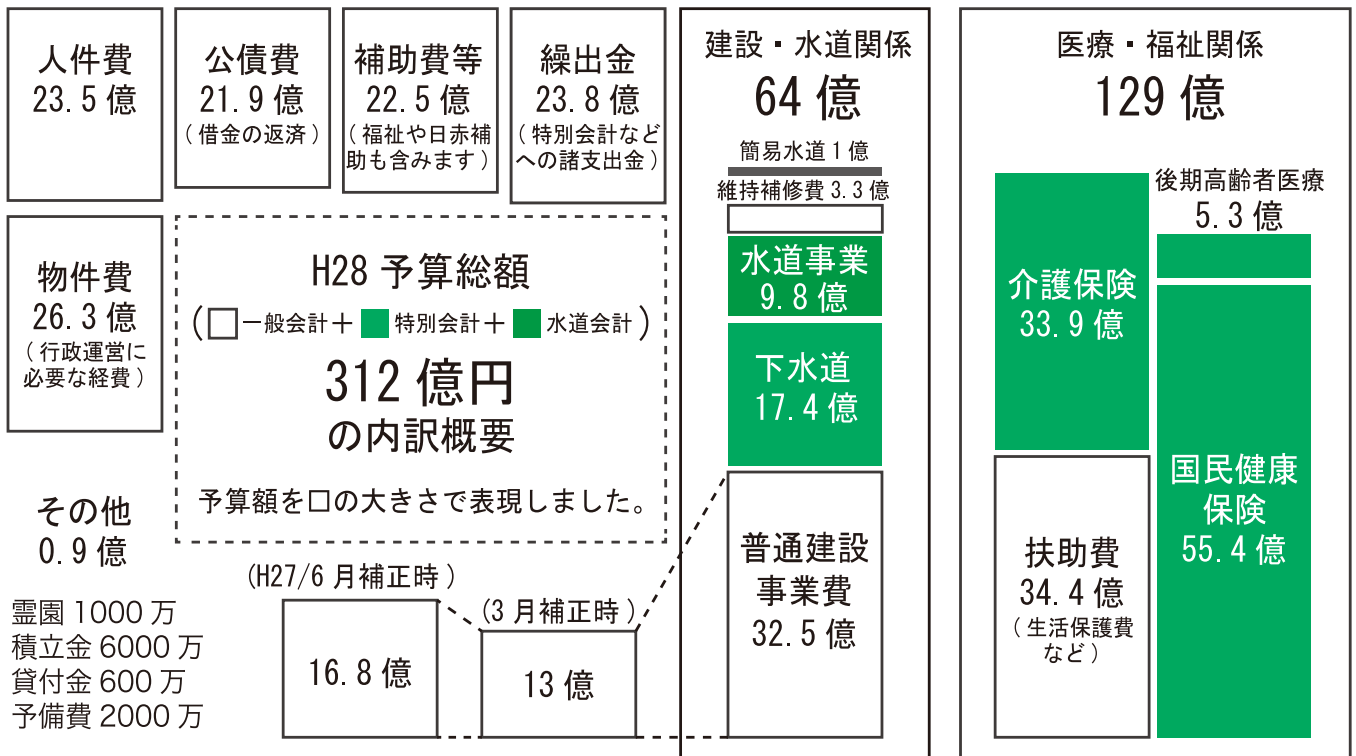
前年度（当初＋6月補正）比で12億円増額となり合併後最大の予算は、（仮称）総合文化館と駅自由通路の建設が本格的にはじまることや遅れている道路工事等の予算が重なったことが要因です。これにより、普通建設事業費は前年度（6月補正後）と比較して約2倍となりました。

特に土木費については国の予算の影響を受けて事業が遅れ、この3月議会で3.8億円の減額補正となり、このしわ寄せが新年度の事業費を大きくしたという面もあります。また建設資材の高騰や人材不足の中での人件費高騰が建設費全体を押し上げているという側面もあります。

これにより「新たな借金は、その年の元金返済額の75%に抑える」としたルールは守れないこ

ととなりました。議会的にはこのルールを守れないことは指摘すべきところではありますが、駅自由通路や安心安全のための道路など議会が要望してきた事業も多く、国の政策予算と貯めてきた基金をうまく使いながらも何とか早く事業を進めてほしいという思いの中での質疑となりました。

深刻なのはこの建設関係費（64億）の2倍に上る医療福祉関係費129億円です。全体予算（312億円）の40%を越える割合となっており、補助費なども含むと割合は高くなります。なお市の財政状況は他市と比較して概ね好調で、不確定要素は国からの予算です。国の政策への懸念を感じながらも、条件の良い事業に手を挙げていくという姿勢は続きます。



一般会計 **189** 億円 平成28年度予算総額 **312** 億円

《予算概要（新規事業の中から抜粋）》

伊達市内映像製作事業	200 万円	堆肥センター維持管理費 フルイ機更新工事	2,775 万 9 千円
伊達市まち・ひと・しごと 創生有識者会議経費	40 万 3 千円	生ゴミ回収車購入	758 万 1 千円
第七次伊達市総合計画策定経費	26 万 1 千円	円山地熱水供給施設維持 管理費源泉ポンプ更新工事	3,621 万 2 千円
「生涯活躍のまち」構想推進事業	9 万 2 千円	アイヌ農林漁業対策事業補助金	2,392 万円
市民活動センター維持管理費	888 万 7 千円	地域循環型ポイントカード 運営事業補助金	460 万円
自治会館建設費補助金	100 万円	地場産品プロモーション事業	160 万 7 千円
黄金地区コミュニティーセンター 外壁等改修工事	671 万 6 千円	地場産品研究・開発事業等助成金	50 万円
参議院議員選挙執行経費	1,985 万 5 千円	西萩原通り線道路整備事業	4,300 万円
やまびこ児童クラブ増築事業	2,015 万 8 千円	舗装修繕事業	3,800 万円
地域子育て支援拠点施設 運営管理委託料	1,556 万 2 千円	橋梁点検事業	2,400 万円
子どものための教育 ・保育給付費負担金 3 億	1,696 万 1 千円	空き家等対策推進事業	28 万 6 千円
民間児童館改修費等補助金	3,326 万 7 千円	大滝区定住促進 住宅整備事業	2 億 7,279 万円
伊達はつつ元気塾事業	417 万 4 千円	防災監視装置整備事業	2,208 万 4 千円
老人福祉施設 危険区域外移転促進補助金	2,540 万円	レイクカウチン中学生派遣事業	752 万 6 千円
伊達市看護師等修学資金貸付金	352 万円	伊達市開拓物語作成事業	172 万 9 千円
日本脳炎ワクチン接種料	2,674 万 9 千円	スポーツ施設 運営管理委託料 1 億	2,800 万円
新規就農者受入推進事業	460 万 3 千円	在宅医療・介護連携推進事業	44 万 6 千円
農作業等軽労化研究事業	65 万円	生活支援体制整備事業	63 万 6 千円
伊達野菜ブランド化推進事業補助金	736 万 2 千円		



伊達市議会議員選挙区条例検討特別委員会

(委員長 国本一夫)

3月16日に第二回目の委員会が開かれ、委員長から今後の進め方について委員に対して意見が求められました。意見の中では、「パブリックコメントのような手法で大滝区住民から意見を募るという方法もあるが、議員一人ひとりの意見が異なる中でコメントを募ったとしても、その個々の意見に対して誰が答えるかを含めて十分に答えることは難しいのではないか」という意見や「議会での議論を進め、どこかの時点で地域協議会や連合自治会との意見交換を行えたら、地域の皆さんの声を聞くことができるので検討すべきではないか」という意見などが出されました。

この日の結論として、伊達市と大滝村との合併時に議員でなかった議員も多いため、10年前の合併協議会から現在までの経緯を確認するための資料を事務局で整理して配布することが決まり、その内容を各自確認した上で、次の委員会に臨むこととなりました。